



熊大生が仮設住宅でお話を伺っています

6月30日から益城町と熊本大学の共同で仮設住宅（赤井・広崎・津森）での聞き取りを行っています。内容は、仮設での暮らしで不便なこと、今後の住まいへのお考えなどです。他の仮設住宅にも今後順次お伺いしますのでよろしくお願い致します。



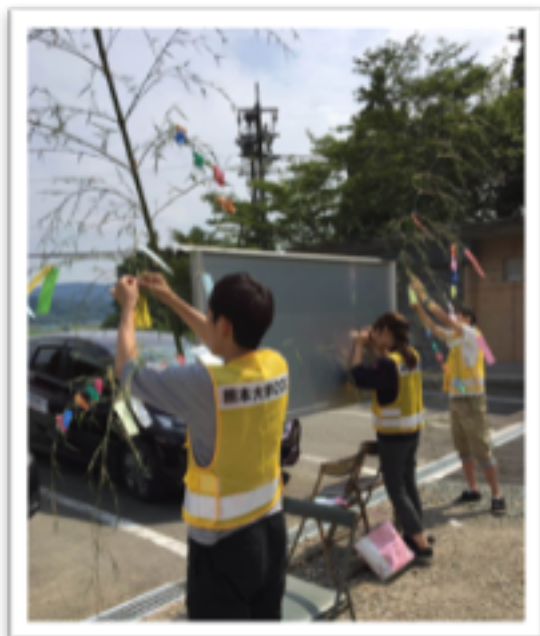
聞き取りの結果速報

6月30日(木)から7月9日(土)実施分まで

お話を伺った戸数：赤井 16戸、広崎15戸、津森25戸 合計 58戸
皆様の声の一部を紹介します。結果の詳細は順次お知らせします。

- いつまで仮設にいられるか不安
- 早くがれき撤去や解体をして欲しい
- 近所付き合いもあるので元の家に帰りたい
- インターネットがないと役場からの情報がすぐには分からない
- 益城町中心部の被害だけが注目されがちだが、杉堂などの周辺部も被害は大変で忘れてほしくない
- ボランティアさんの活動がありがたかった
- 仮設に入れただけでありがたい
- 周りに買物できるところが少ない
- 役場の人が一番大変だが丁寧に対応してくれた
- 今回、話をすることがストレス発散になった

七夕の願いが届きますように！



広崎と津森の仮設団地での七夕飾りに熊大が協力しました(7月5-7日)。住民の皆様が短冊に書かれた願いがかなうようメンバー一同で支援を続けたいと思います。

益城に
元気で自然豊かな
に戻りますように

仮設の皆さんが
病気をしませんように

2年後には自宅に戻り落ち着いた
生活ができますように